

**ツキノワグマの目撃・痕跡報告が依然として多い状況であることから、
人身被害発生防止に向け、クマ出没警戒注意報を継続します**

「クマ出没警戒注意報」発表（5月19日）後もクマの出没件数が昨年並に多くなっていることに加え、6月20日には南魚沼市で今年度2件（2名）目となる人身被害が発生しています。

こうした状況を踏まえ、人身被害の発生防止に向け、クマ出没警戒注意報を継続します。

引き続き、市町村や山岳協会、観光協会、教育機関等と連携して、ポスターやSNSなどを活用し、県民にクマから身の安全を守る行動を呼び掛けてまいります。

1 警戒レベル クマ出没警戒注意報（変更なし）

2 引き続き県民の皆様をお願いすること

- 地域のクマ目撃情報を確認し、クマのいるところには近づかない
- クマの活動が活発な早朝や夕方の入山を避ける
- 複数で行動し、ラジオや鈴など音の鳴るものやクマ撃退スプレーを携行する
- クマに出会ったときは慌てずにゆっくり後退する
- クマに襲われた場合、地面に伏せて頭・首・腹を守る（両手で首の後ろをガードする）

3 県の取組

- にいがたクマ出没マップによる出没情報発信
<https://www.arcgis.com/apps/dashboards/20b4d06fb3b34776959a4e69c7a8511a#>
- クマから身を守る動画の提供
<https://youtu.be/MAvN1JMXAIE>
- 市町村、関係機関・団体への注意喚起チラシ等の広報資材の提供

本件についてのお問い合わせ
鳥獣被害対策支援センター
鳥獣被害対策統括調整監 長谷川
電話（直通）：025-280-5809



クマ注意!

令和7年度はクマの出没数が過去最多となり、
冬期間の出没も多かったことから、
今年度も春先からクマへの注意が必要です。
特に、山菜採りや登山などで山に入る際は
クマに遭遇しないための行動を徹底しましょう!

※画像はイメージであり、実際に人が襲われたところを撮影したもの
ではありません



クマから身を守る
ための動画



クマに襲われた場合、地面に伏せて
頭・首・腹を守る

※秋田大学の研究では防御姿勢をとった方に
重症者はいなかったという結果が出ています。

最新の出没状況を確認!



県内のクマの出没情報は

にいがたクマ出沒マップ | 検索

クマに遭遇しないための行動

単独行動を避ける



音の鳴る物
クマ撃退スプレーを携行



親子クマに注意



※子グマの近くに母グマがいる
可能性があります

生ゴミ等の誘引物を
放置しない



作業中はこまめに周囲を確認



※早朝や夕方 は要注意!

クマに出会ったときは
慌てずにゆっくり後退



新潟県

新潟県 鳥獣被害対策支援センター : <https://www.pref.niigata.lg.jp/site/tyoujyutaisakusienn/>